川崎市教育委員会賞

いつも元気な「雨山さん」

東高津小学校　５年生　筧　羽未

　わたしは、毎日元気に登校することができています。なぜなら、いつも横だん歩道で元気にあいさつをしてくれるスクールガードの雨山さんがいるからです。雨山さんは、わたしが一年生のときからいて、毎日、
「おはようございます!」
と元気な声で言ってくれます。最初のころは、返すのがはずかしかったけど、だんだん月日を重ねると、自分から、
「おはようございます!」
と言えるようになりました。雨山さんは、この横だん歩道を通る散歩中のワンちゃんの頭をなでてあげていて、あまり話したことはないけれど、やさしい人だということが伝わってきます。わたしは、雨山さんのおかげで、あいさつの大切さに気がつきました。あいさつをするのとしないのでは、印象が全然ちがいます。なので、わたしは、少し人見知りですが、初めて会った人とも、あいさつをしっかりすることを心がけています。習い事の空手で、練習試合に行ったら、知っている先生にあいさつをしに行く。朝起きたら、家族に
「おはよう。」
と言う、など、いろんな人にあいさつができるようになりました。わたしは、雨山さんの元気なあいさつを、これからも受けつぎたいと思っています。もし、わたしが大人になって、仕事を始めたら、雨山さんのように大きな声であいさつをしたいです。そして、それを見た人達が、わたしのように、
「こんど、自分からあいさつしてみようかな。」
と、思えるようにしたいです。雨山さんは、スクールガードなので、いつも黄色い旗を持って、登校中のわたし達を守ってくれています。わたしは今、五年生で、もうすぐ小学校を卒業します。中学生になったら、きっとこの横だん歩道を通ることは少なくなると思います。でも、中学校、高校に行っても、雨山さんの事はわすれません。そして、わたしが小学校を卒業したら、後はい達に、雨山さんのあいさつを受けついでもらって、東高津小学校を「あいさつのステキな学校」にしたいです。わたしは、中学校に行っても、雨山さんのような元気なあいさつを心がけます。